

第3回 千代川タイムライン検討会 ニュースレター

令和2年1月24日（金） 14:00～16:30
国土交通省中国地方整備局 鳥取河川国道事務所

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1. 開会の辞 | 鳥取河川国道事務所 浜田副所長 |
| 2. 挨拶 | 鳥取大学大学院工学研究科 三輪浩教授 |
| 3. 千代川水害タイムライン（素案）について | パシフィックコンサルタンツ株式会社 |
| 4. グループワーキング | パシフィックコンサルタンツ株式会社 |
| 5. 総評 | 鳥取大学大学院工学研究科 三輪浩教授 |

◆ 参加機関（国、県、市、他機関21機関(29機関中)）◆ 第3回検討会の内容

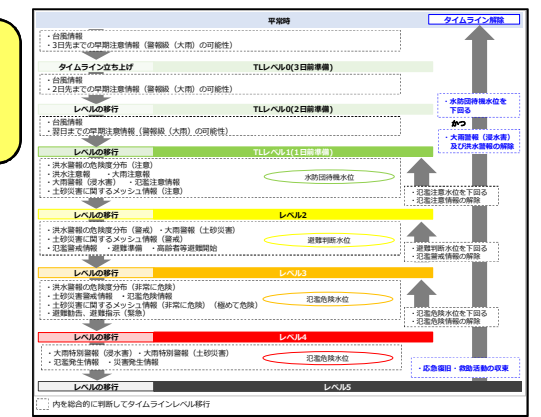
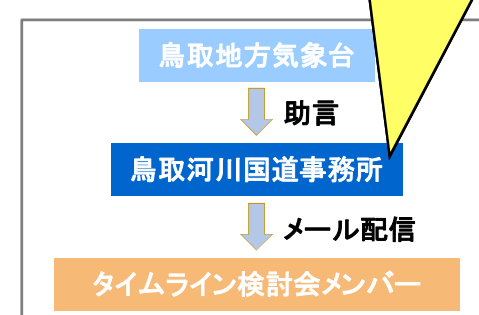
座長	鳥取大学大学院工学研究科	
気象庁	気象庁 鳥取地方気象台	
鳥取県	危機管理局	危機管理政策課
	県土整備部	河川課
警察	県土整備事務所	計画調査課
	鳥取県 警察本部	警備第二課
	鳥取警察署	
	智頭警察署	【欠席】
市町	郡家警察署	
	鳥取市 危機管理課	
自衛隊	陸上自衛隊 第8普通科連隊	【欠席】
消防	鳥取県 東部広域行政管理組合 消防局	警防課
ライフライン	中国電力株式会社	鳥取営業所【欠席】
		鳥取電力所
	鳥取ガス株式会社	
通信インフラ	NTT西日本株式会社 中国支店	鳥取営業所
鉄道	JR西日本株式会社 米子支社	安全推進室
バス会社	日本交通株式会社	鳥取
	日ノ丸自動車株式会社	鳥取
報道関係	NHK	鳥取放送局
	日本海テレビジョン放送株式会社	報道制作局【欠席】
	株式会社 山陰放送	鳥取支局【欠席】
	山陰中央テレビジョン株式会社	
	日本海ケーブルネットワーク株式会社	鳥取【欠席】
	株式会社 鳥取テレピア	(いなばぴょんぴょんネット)
国土交通省	中国地方整備局 鳥取河川国道事務所	河川管理課
		殿ダム管理支所【欠席】
		防災課
		道路管理一課
		道路管理二課【欠席】

3. 千代川水害タイムライン（素案）について

✓ タイムラインの立ち上げ・レベル移行・解除

- タイムラインは、台風情報、早期注意情報（警報級の可能性）、気象予警報、河川水位状況を総合的に判断して、**順次レベルが移行（引き上げ、引き下げ）**される。
- 被害が発生した場合（レベル5に到達した場合）は、応急復旧や救助活動が収束するまでレベル5を維持し、**応急復旧や救助活動が収束した段階でタイムラインを解除**する。

鳥取河川国道事務所が主体となってメンバーにメールにて情報提供



▲ レベル立ち上げ・移行・解除のトリガーの流れ

✓ タイムラインの構成

…タイムラインは【詳細版】、【概要版】、運用方法の3つで構成。

種類	概要	イメージ
タイムライン【概要版】	<ul style="list-style-type: none"> ■ タイムライン【詳細版】の対応項目を抜粋して防災行動の種類毎に整理されている。 ■ 対応の全体像を確認するときに活用する。 	
タイムライン【詳細版】	<ul style="list-style-type: none"> ■ 行動手段・手順（第3階層）までの詳細な対応が各機関・部署毎に時系列に整理されている。 ■ 水害時は対応のチェックリストとして活用する。 	
タイムライン運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ■ 台風や大雨に対するタイムラインの立ち上げ・移行基準や、メーリングリストを利用した情報発信等が記載されている。 ■ タイムラインを運用する際に確認・活用する。 	



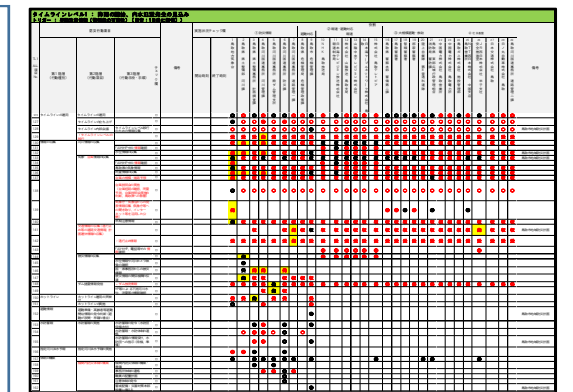
◀ 「3. 千代川水害タイムライン（素案）」の様子

✓ タイムライン（素案）について

- これまでの研修会・検討会ワーキングや、事前作業で抽出いただいた防災行動項目を基に、**事務局でタイムライン（素案）を作成。**
- 各機関の連携や役割分担、情報発信・受信を分かり易く表現するため、**防災行動項目の階層分類・記号分類を採用。**

<記号分類>

- ◎：主体的に行動する機関
- ：支援または協働する機関
- ☒：メーリングリストで発信する情報
- 発：情報を発信する機関
- 収：情報を自ら収集する機関
- 受：情報を受ける機関
- ※赤字：事務局が想定・追記した項目。



▲ 千代川水害タイムラインイメージ

<階層分類>

- ・第1階層：行動種別（大分類）…事務局の想定・ワーク成果を基に整理。
- ・第2階層：行動項目（中分類）…中分類の行動項目。
- ・第3階層：行動手段（小分類）…第2階層の項目をより具体化・細分化した行動手段。

4. グループワーキング

…同様の役割を有する機関のグループで構成した、合計4グループの構成でワーキングを実施しました。
 第2回検討会ワーキングで具体化・細分化された重点行動項目の課題について、**対象機関と意見交換をし、課題解決・調整**を行いました。

▶グループ分け

グループNo.	グループ名	対象機関
①	防災情報	気象台、河川管理者、県土木部局、道路管理者(情報)
②	広報・報道	報道事業者
	避難対応	県・自治体危機管理部署
③	大規模避難・救助	警察、消防、自衛隊
④	社会基盤(交通・運輸)	交通事業者、道路管理者(復旧)
	社会基盤(ライフライン・通信インフラ)	ライフライン事業者、電気通信事業者

Step 1 タイムライン(素案)の確認

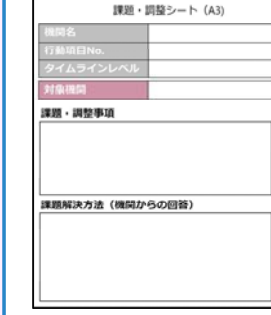


▲ TL素案の自機関項目に印(イメージ)

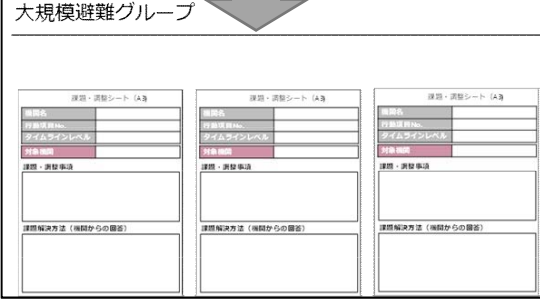


- 自機関の実施する行動項目(記号○、○、発、収、受)及び、具体化・細分化された防災行動項目を確認。

Step 2 各機関との連携・調整事項の抽出



- 第2回検討会ワークで上がった課題について、事務局で「課題・調整シート」を作成。
- シートの「機関名」、「行動項目No.」、「TLレベル」、「課題解決のための相手機関・調整先」、「課題・調整事項」について間違いがないかどうか確認。不足がある場合には追記。

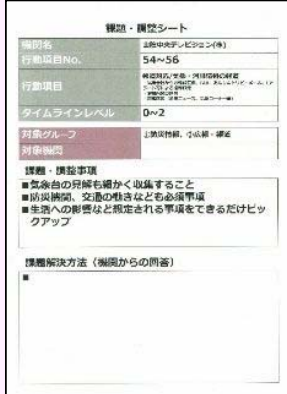
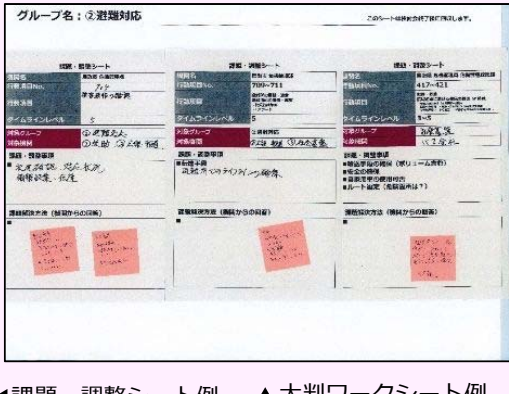


Step 3 各機関との課題の整理・共有




- 全体で各グループの課題解決シートを発表
- 発表された課題・調整事項に関係する他機関への投げかけ、意見交換を通して課題解決へと結びつける。
- 課題・調整事項について他機関から得られた回答、解決策については、課題・調整事項シートの回答欄に記入。

- 全体意見交換で共有する「課題・調整事項」をグループ内で選定(3つ程度)。
- グループとして解決したい課題を、重複がないように優先的に選定。


◀課題・調整シート例 ▲大判ワークシート例

ワーキング成果

グループ名	発表機関	主な発表内容(発表順)
④ 社会基盤(交通)	JR西日本(代表)	課題① 継続したL字放送での運休の周知。 回答 詳細で正確な情報をFAX・メール等で教えてくれば可能。再開が決まったら、情報を伝えてほしい。(NHK)
		課題② 点検のための通れる道路が分からない。 回答 安全確認のためのパトロールをし、何かあればその都度対応する。点検がすべて終わってからの周知になる。(道路管理第一課)
④ 社会基盤(ライフライン)	中国電力鳥取電力所	課題 現場へ行くための正確でタイムリーな情報を知りたい。 回答① HPや電話で直接回答が可能。(鳥取地方気象台) 回答② ツイッター、プッシュ型配信、「川の防災情報」、トリピーメールで情報を発信している。(河川管理課)
	鳥取ガス	課題 住民避難情報の確認。 回答 避難所の開設は被害がない場所で行う。ライフラインの情報はこちらも必要なので、適宜連絡を取りたい。(グループ②代表:鳥取市)
② 避難対応	鳥取市危機管理課	課題① 災害が発生している状況で現場がどうなっているか、人的被害が発生した際の情報発信を知りたい。 回答① 規模が小さいうちは消防でも報道対応が可能。大規模であれば、市が行った方がよい。(消防局) 回答② 連絡を密にしながら共有していく。(鳥取警察署)
	鳥取県危機管理局	課題② 避難所のライフライン(電気・ガス等)の確保。 回答 避難所開設の情報を教えてくれば、優先的に動くことができる。(中国電力鳥取電力所)
② 広報・報道	山陰中央テレビジョン(代表)	課題 広域避難の際の移送手段。 回答 バス協会が取りまとめて、災害時の協力を行う。(日本交通)
		課題 取材先の状況が不明。 回答① 川の水位はCCTVで見れる。(河川管理課) 回答② 「通れるマップ」のようなものがあればよいと思っている。(道路管理第一課)
③ 大規模避難・救助	鳥取県警察本部(代表)	課題② 住民への避難情報発表のための情報はFAXでいいのか。 回答① 自治体で発表方法は様々である。(鳥取市) 回答② 定時報告のためリアルタイムではない。県の情報はその時の最新情報なので、タイムラグ生まれる。(鳥取県)
		課題③ もう少し早く交通情報がほしい。路線バスの状況が不明。 回答 報道機関に発表のご協力をお願いしたい。(日ノ丸自動車)
① 防災情報	鳥取河川国道事務所河川管理課	課題① 停電時のフリーダイヤルは、専用の回線があるといい。 回答 停電アプリを活用してほしい。大規模停電の際には、人員不足で問い合わせの電話に対応できない場合もある。(中国電力鳥取電力所)
		課題② TLレベル0の時、点検・巡視の際に発見した問題点等を事前に共有してほしい。円滑な再確認につながる。 回答 異常があった際の報告は、他機関TLの上で今後行っていく必要があると思われる。(河川管理課)
		課題③ 何世帯中の何世帯・何名が避難しているかを教えてほしい。防犯上必要な情報。 回答 必ずしも住民が対象の避難所に避難するとは限らないため、何世帯中何世帯というのは難しい。(鳥取市)
		課題 一般の方への伝達の方法。 回答① 緊迫感を伝えることが必要。(グループ①代表:山陰中央) 回答② 直接電話をかけてくれば、実際の深刻さが伝わり、こちら側もそれを踏まえて報道できる。(NHK)

総評 鳥取大学 三輪教授

「我々を含めた住民がいかに的確な情報をキャッチできるかが、タイムラインにおいて大事。そしてタイムライン作成が少しでもその役に立てばいい。今回は住民がどのように情報をキャッチするかという議論が、自然とグループワークの中で出てきていると感じた。タイムラインは、住民の情報の受け取り方を向上させていく取り組みであることを共通認識として全員が持っていれば、今後完成形をどう活用するのかにつながっていく。」



◆ 第4回 千代川タイムライン検討会の予定

- 開催時期: 令和2年 2月26日(水) 14時~16時30分(予定)
- 検討会内容: **千代川水害タイムライン(案)を使用した机上演習による行動項目の確認**

- 行動項目を主体的・支援的に行う機関、情報の受発信を行う機関の再確認を行う。
- 行動項目を実施する上での関係機関との課題を、最終確認する。
- タイムラインの特徴の一つである「顔の見える関係」を実践し、一体感を高め、共通理解を確認する。